



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月8日

上場会社名 大興電子通信株式会社 上場取引所 東
コード番号 8023 URL <https://www.daikodenshi.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松山 晃一郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 間瀬 剛志 TEL 03-3266-8111
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,693	17.9	156	—	176	—	76	—
2023年3月期第1四半期	7,374	△4.4	△79	—	△61	—	△129	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 267百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 △131百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	5.83	—
2023年3月期第1四半期	△9.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	25,085	9,895	39.3	746.16
2023年3月期	25,617	9,904	38.5	746.92

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 9,848百万円 2023年3月期 9,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	21.00	21.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	1.0	1,700	△9.2	1,720	△10.6	1,150	15.4	86.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	13,868,408株	2023年3月期	13,868,408株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	669,932株	2023年3月期	669,835株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	13,198,524株	2023年3月期1Q	13,472,182株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
3. 補足情報	9
(1) 連結受注実績	9
(2) 連結販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限緩和によって経済社会活動の正常化が進み、緩やかに回復いたしました。一方で、世界的な金融引き締めによる景気下振れリスクは依然として高く、日本国内においては、原材料価格の高止まりや円安を背景とした物価上昇など、経済動向は先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中、当情報サービス業界では、部品不足によるハードウェアの納期遅延が徐々に緩和し、デジタル社会の実現に向けたDX（デジタルトランスフォーメーション）推進やIoT化の動きが継続し、IT投資については引き続き底堅く推移いたしました。

こうした環境の下、当社グループでは長期ビジョン「CANVAS（キャンバス）」に基づく中期経営計画「CANVAS ONE（2023年3月期～2025年3月期）」の2年目を迎え、「新たな価値提供への挑戦を続け、彩りのある企業へ」をビジョンに掲げ、人的資本を中心とした価値創造投資を推進すべく「五方良し」の経営の実践に向け引き続き取り組んでおります。

営業活動全般におきましては、ハードウェア、工事資材などの納期遅延等が徐々に緩和され、公共分野から民需分野へのシフトも定着しております。加えて、前期に引き続き収益性が高い重点ソリューションに注力するとともに、お客さまの様々なニーズに対応するため、以下ソリューションの提案と販売に注力しております。

①セキュリティソリューション

戦略商品「AppGuard®」を中心とした、サイバー攻撃やランサムウェアから企業を守る数多くのセキュリティソリューション

②HRソリューション

スマートフォンやパソコンからの雇用契約や入社手続きを可能とする『WEB雇用契約』やSaaS型タレントマネジメントシステム「カラタレ」と連携したサービスなどをラインナップした当社クラウド型ポータルサービス「i-Compass」

③法令改正に対応するペーパーレスソリューション

電子契約サービス「DD-CONNECT(ディ・ディ・コネクト)」、社内・社外文書の送付と受取の双方向に対応した電子データ交換機能、加えて紙に記載された項目をAIと人を活用してデジタル化するサービスがセットされた統合ペーパーレスサービス「EdiGate DX-Pless」（2023年5月から提供を開始、「EdiGate for INVOICE」は当ソリューションに機能を統合）

また、コアビジネスの取り組みと併せ、連結子会社である株式会社CAMI & Co. のIoT事業における技術力やコンサルティング力を活用することで「CANVAS ONE」に掲げるシン・ビジネス創出にも取り組み、M&Aによるシナジの発揮に加え、様々な素材のビジネス化に向けて企画ならびに実行を推進しております。

グループ運営におきましては、M&Aにより連結子会社化した各社との、技術者確保やシン・ビジネス創出を目的とした一層の連携強化に取り組んでおります。

一方、社内的には「お客さま第一」の方針のもとお客さまの経営課題の解決をご支援するために、「人の品質」「物の品質」「仕事の品質」の向上を目指し、組織を横断するタスクフォース活動に引き続き取り組みました。

この結果、販売面におきましては、富士通株式会社及び同社グループとの連携強化による新規商談及び既存顧客からの受注獲得に努め、当連結会計年度の業績は、受注高106億74百万円（前年同期比121.6%）と前期に引き続き伸長したことで、今後の売上につながる受注残高（受注後、未売上の契約額）も増加（前年同期比133.6%）し、売上高86億93百万円（前年同期比117.9%）と増加しました。

部門別に概観いたしますと、情報通信機器部門におきましては、半導体不足による納期遅延の影響の解消が進み、受注高は26億79百万円（前年同期比126.5%）、売上高は21億86百万円（前年同期比143.2%）と伸長いたしました。

ソリューションサービス部門におきましては、受注高79億94百万円（前年同期比120.0%）、売上高65億6百万円（前年同期比111.3%）となりました。同部門の内訳としては、ソフトウェアサービスでは、受注高は57億47百万円（前年同期比131.1%）、売上高は43億37百万円（前年同期比108.8%）と既存顧客との取引の増加ならびに公共分野から民需分野へのシフトが定着し増加しました。

保守サービスでは、情報通信機器の販売の増加に伴い受注高が増加し、売上高は16億34百万円（前年同期比118.5%）と増加しました。

ネットワーク工事では、受注高は減少しましたが、売上高は5億35百万円（前年同期比111.4%）と増加しました。

利益面におきましては、収益性が高いソリューションサービスの売上高が堅調であったこと、情報通信機器の売上高が大幅に増加したこと等により売上総利益が増加しました。一方で、「CANVAS ONE」に基づく人的資本投資の一環である社員の処遇改善や営業・販促活動の正常化により経費の増加がありましたが、営業利益1億56百万円（前年同期は営業損失79百万円）、経常利益1億76百万円（前年同期は経常損失61百万円）と改善いたしました。

また、法人税、住民税及び事業税ならびに法人税等調整額を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、76百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億29百万円）と増加しました。

<当社グループの四半期業績の特性について>

情報サービス産業の特性として、ハードウェアならびにシステムの導入及び更新が年度の節目である9月、3月に集中する傾向にあるため、当社グループの売上高及び利益は、第2四半期、第4四半期に増加する特性がありません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末より5億32百万円減少し、250億85百万円となりました。この主な要因は、前連結会計年度末に集中した売上に係る債権が順調に回収されたことにより受取手形、売掛金及び契約資産が34億79百万円減少し、現金及び預金が12億42百万円増加したこと、仕掛品が10億85百万円増加したこと、及びのれんが3億27百万円増加したこと等であります。

負債につきましては、前連結会計年度末より5億22百万円減少し、151億90百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が12億99百万円減少したこと、賞与引当金が3億77百万円減少したこと、及びその他流動負債14億1百万円増加したこと等であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末より9百万円減少し、98億95百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、及び配当金の支払いにより利益剰余金が減少したこと等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、2023年5月15日公表時から変更しておりません。今後の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。現時点における見通しにつきましては以下の通りです。当第1四半期の業績は、受注高が前期に引き続き堅調であったことにより、受注残高が前年同期比133.6%と増加しており、第2四半期以降の売上高に貢献することが見込まれております。利益面におきましては、増収ならびにソリューションサービスの収益性が堅調であることから、売上総利益の増加により人的資本投資やその他投資関連経費の増加を吸収できるものと見込んでおります。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,289,648	8,532,126
受取手形、売掛金及び契約資産	9,881,325	6,402,125
機器及び材料	419	364
仕掛品	1,257,321	2,342,935
その他	913,015	1,011,112
貸倒引当金	△365	△359
流動資産合計	19,341,365	18,288,306
固定資産		
有形固定資産	655,145	696,030
無形固定資産		
のれん	363,193	691,033
その他	210,080	205,425
無形固定資産合計	573,273	896,459
投資その他の資産		
投資有価証券	1,858,562	2,130,911
退職給付に係る資産	576,692	580,418
繰延税金資産	2,087,821	1,937,966
その他	568,559	598,325
貸倒引当金	△44,001	△43,080
投資その他の資産合計	5,047,634	5,204,541
固定資産合計	6,276,054	6,797,031
資産合計	25,617,419	25,085,337
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,414,234	4,114,236
短期借入金	2,270,000	2,170,000
1年内返済予定の長期借入金	26,096	12,746
未払法人税等	139,373	73,741
賞与引当金	680,106	302,107
その他	1,939,214	3,340,963
流動負債合計	10,469,025	10,013,795
固定負債		
長期借入金	25,134	15,482
役員退職慰労引当金	82,664	84,629
退職給付に係る負債	4,899,154	4,854,899
その他	236,958	221,419
固定負債合計	5,243,912	5,176,430
負債合計	15,712,937	15,190,226

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,969,068	1,969,068
資本剰余金	137,251	137,251
利益剰余金	7,189,967	6,989,747
自己株式	△306,778	△306,830
株主資本合計	8,989,508	8,789,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	894,724	1,082,714
退職給付に係る調整累計額	△25,890	△23,798
その他の包括利益累計額合計	868,834	1,058,915
非支配株主持分	46,138	46,958
純資産合計	9,904,481	9,895,110
負債純資産合計	25,617,419	25,085,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	7,374,832	8,693,540
売上原価	5,578,952	6,474,003
売上総利益	1,795,880	2,219,536
販売費及び一般管理費	1,875,523	2,062,627
営業利益又は営業損失(△)	△79,643	156,909
営業外収益		
受取利息	73	70
受取配当金	17,125	23,164
助成金収入	3,980	1,950
その他	5,252	2,565
営業外収益合計	26,431	27,750
営業外費用		
支払利息	4,306	4,071
固定資産除却損	1,246	1,180
リース解約損	10	26
支払手数料	1,609	225
その他	1,144	2,564
営業外費用合計	8,317	8,068
経常利益又は経常損失(△)	△61,529	176,590
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△61,529	176,590
法人税、住民税及び事業税	19,180	34,387
法人税等調整額	47,244	64,393
法人税等合計	66,424	98,780
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△127,954	77,809
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,431	859
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△129,386	76,949

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△127,954	77,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,128	187,989
退職給付に係る調整額	5,310	2,091
その他の包括利益合計	△3,817	190,081
四半期包括利益	△131,771	267,890
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△133,203	267,031
非支配株主に係る四半期包括利益	1,431	859

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

当第1四半期連結会計期間より、株式取得により株式会社ベルテックスを連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 連結受注実績

(単位：千円)

部門・品目		当第1四半期 (2023.4.1~2023.6.30)		前第1四半期 (2022.4.1~2022.6.30)		対前年 同期 増減率	前連結会計年度 (2022.4.1~2023.3.31)	
		受注高	構成比	受注高	構成比		受注高	構成比
情報通信機器		2,679,789	25.1	2,118,003	24.1	26.5	10,791,873	26.4
ソリューション サービス	ソフトウェアサービス	5,747,061	53.8	4,385,139	49.9	31.1	19,422,771	47.5
	保守サービス	1,699,490	15.9	1,501,089	17.1	13.2	6,850,155	16.7
	ネットワーク工事	548,446	5.1	777,181	8.9	△29.4	3,839,638	9.4
小計		7,994,997	74.9	6,663,410	75.9	20.0	30,112,565	73.6
合計		10,674,787	100.0	8,781,413	100.0	21.6	40,904,439	100.0

(2) 連結販売実績

(単位：千円)

部門・品目		当第1四半期 (2023.4.1~2023.6.30)		前第1四半期 (2022.4.1~2022.6.30)		対前年 同期 増減率	前連結会計年度 (2022.4.1~2023.3.31)	
		販売高	構成比	販売高	構成比		販売高	構成比
情報通信機器		2,186,592	25.2	1,527,357	20.7	43.2	9,686,778	25.8
ソリューション サービス	ソフトウェアサービス	4,337,553	49.9	3,987,672	54.1	8.8	18,143,819	48.2
	保守サービス	1,634,147	18.8	1,379,426	18.7	18.5	6,396,799	17.0
	ネットワーク工事	535,246	6.2	480,376	6.5	11.4	3,388,380	9.0
小計		6,506,947	74.8	5,847,475	79.3	11.3	27,928,999	74.2
合計		8,693,540	100.0	7,374,832	100.0	17.9	37,615,778	100.0